

平成29年度 県立鬼怒商業高等学校自己評価表

目指す学校像	本県教育の目標・校訓をふまえ、地域社会の要望に応えながら、人間性豊かな個性の伸長を図り、教養ならびに専門的知識を高め、自主性・自立性を備え、時代の変化やグローバル化に対応できる地域のリーダーとなる人材を育成する。			
	今年度の成果と次年度への課題	重点項目	重点目標	達成状況
	平成29年度末に各部・各項目別に成果と課題について検討を加えた。			
教務部	<p>○アクティブラーニング研修等、実践的で有用な研修を行い、教員の指導改善への意識啓発ができた。</p> <p>○生徒の達成状況に応じた課外や補習を計画的に行えた。</p> <p>○必要に応じ、内規や教育課程の検討・見直しが行えた。</p> <p>○体験入学・出前授業・学校公開・PR用DVDの作成・地域との協働・イベントへの参加等、定員確保と地域との連携を密に取るための取り組みが行えた。</p> <p>○ボランティア活動では、地域の要望に応え協働的に活動することができた。</p> <p>【次年度への課題】</p> <p>○教員の指導力向上のため教科横断的な情報共有や、生徒の資質・能力を育むための取り組みについて効果的な対策を講じる。</p> <p>○継続的に内規の問題点について検討するとともに、運用についての共通理解を図る。</p> <p>○校務支援システムの円滑な活用とHPの充実を図る。</p> <p>○新学習指導要領に向け、生徒や地域の実情・実態や本校の特性に合わせた教育課程の編成を考える。</p> <p>○定員確保と地域に開かれた学校として外部との協働・連携を図る。</p> <p>○ボランティア活動で学んだ内容を生徒同士がフィードバックできるように道徳の授業を有効活用する。</p>	<p>生徒の学力向上を図る。</p> <p>内規の検討を行う。</p> <p>情報の適切な保護・管理と、HPでの教育活動の公表に努める。</p> <p>道徳及び道徳プラスの効果的学習を行う。</p> <p>安定的な定員確保に向けた商業教育の活性化と、広報活動の実施。</p>	<p>授業の工夫改善を行い、主体的・対話的で自ら学ぶことによる、分かる授業を展開させる。</p> <p>本校の現状を踏まえ、内規の問題点を話し合い、必要に応じて見直す。</p> <p>ガイドラインの作成と、それに沿った情報の運営・管理を行う。</p> <p>協働的な学びを通し、生徒の自己有用感・達成感を味わわせる授業を展開させる。</p> <p>地域と連携し協働的な教育活動を行う。体験入学、出前授業の更なる充実と、学校公開や中学校訪問、HP等でのPR活動を積極的に行う。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>
進路指導部	<p>○生徒の進路希望に即した進路ガイダンス等の行事・面接・課外指導を実施できた。</p> <p>○進路決定率100%を間もなく達成できる。</p> <p>○インターンシップは24事業所において、66名の生徒が参加し地域や社会との協働的活動ができた。</p> <p>○企業見学や就職選考等、進路と学年の連携がスムーズに取れた。</p> <p>【次年度への課題】</p> <p>○教員間の連携をより一層深められるようにしたい。</p> <p>○就職に関して、企業見学や選考のあり方について改善し、効率的に行うための方策を模索する。</p> <p>○進学に関して、推薦基準についての見直しを図る。</p>	進路指導の充実を図る。	<p>生徒の個性に応じ、適切なキャリア教育を実施する。</p> <p>進路実現100%を目指し、進学課外や教職員及び外部講師による模擬面接指導などの推進に努める。</p> <p>教員間の連携をはかり、進路未決定者に対するきめ細やかな指導を行う。</p> <p>進路に関する適切な資料や情報の提供、案内、説明、相談、またキャリアデザインに関する指導などを適宜積極的に行う。</p> <p>企業訪問を行い、求人確保及び開拓を推進する。</p> <p>インターンシップなど様々な活動を通して職業意識の啓発を図るとともに、進路選択を具体的に意識させる。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>B</p>
生徒指導部	<p>○立哨指導で部活動の生徒が見本となり、挨拶等の呼びかけ運動ができた。</p> <p>○生徒指導表を導入し、女子のスカート丈が改善された。○遅刻カードを利用した段階的な指導が昨年度よりも機能した。○予定された講話や講習会をすべて実施し事故等の未然防止ができた。</p> <p>○校内の巡回指導を毎日行うことができた。外部からの苦情や学校の現状を集会等で知らせ、生徒への啓発を行った結果、苦情件数が減った。○計画的にカウンセリングを行うことができた。</p> <p>【次年度への課題】</p> <p>○授業開始時の服装チェックのあり方について再検討する。○喫煙防止等に効果的な指導法を考える。</p> <p>○服装頭髮指導や特別指導等のあり方について内規について検討する。</p>	生徒指導の充実を図る。	<p>挨拶・身だしなみ・遅刻、欠席等基本的な生活習慣を身に付けさせるために、教員の共通理解のもと、きめ細やかな厳しい指導を行う。</p> <p>朝の立哨指導、校内巡回を通し、生徒の小さな変化に気を配り、問題行動やいじめの未然防止に努める。</p> <p>教員とスクールカウンセラー、家庭が連携し、効果的な教育相談の充実を図る。</p> <p>集会やLHR等を通し、起こりうる問題への対処方法や、未然防止策を考えさせ、自主的に安全を守る能力を育成する。</p> <p>・基本的生活習慣の確立に努める。</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>B</p>
特活部	<p>○円滑な学校行事運営が実現できた。</p> <p>○年間を通じて、部活動加入率50%を維持することができた。</p> <p>○前年度の反省を活かし、クラスマッチや体育祭をより充実させることができた。</p> <p>【次年度への課題】</p> <p>○文化祭は、早い段階から生徒を動かし、主体的な取り組みが行えるようにする。</p> <p>○クラスマッチは、2日間を有効に活用し充実した内容になるよう企画する。教員の役割分担も再考する。</p> <p>○学校行事の運営に関して、生徒間の協議をより一層活性化させ、主体的・対話的な取り組みになるようにする。</p>	特別教育活動の活性化を図る	<p>・部活動、体育祭等の学校行事の充実を努め、生徒の主体的参加を促し、達成感や自己有用感を持たせる。</p> <p>・委員会等の特別活動や生徒会活動の活性化に努め、生徒が自ら考え行動する機会を増やす。</p>	<p>B</p> <p>B</p>
環境整備部	<p>○教室のワックス掛け・モップ交換を計画通り実施できた。</p> <p>○教室の床を業者による清掃・ワックス掛けを行うことができた。</p> <p>○生徒の美化意識の向上と、協働を通しての教員と生徒間の信頼関係を築くことができた。</p> <p>○本館・特別棟トイレ清掃の美化に努めた。</p> <p>○学校周辺・通学路のゴミ、空き缶拾いは特活部とも協力・連携し計画通り実施できた。</p> <p>【次年度への課題】</p> <p>○本館のトイレ清掃に、業者を入れたが、特別棟トイレのフローリングもお願いしたい。</p> <p>○生徒の公共心や美化意識の向上を育成するために、業者の定期的な導入も検討してはどうか。</p>	<p>自ら率先して清掃を行う態度を養う。</p> <p>環境問題等に関する意識の向上を図る。</p>	<p>・教室のワックス塗り、モップ交換を定期的に年間4回実施する。</p> <p>・清掃監督を毎日行い、生徒の美化意識の向上に努める。</p> <p>・学期ごとの目標を設定し、環境衛生面の意識の向上を図る。</p> <p>・学校周辺の空き缶、空き瓶、ゴミ等清掃を年間2回行い、教育環境に興味関心を持たせる。</p> <p>・ゴミの分別をきちんとさせ、併せて環境問題にも関心を持たせる。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>
図書部	<p>○読書センター・情報センターとして、蔵書整理や、新刊情報、季節の風物、図書便りの定期発行等、生徒の興味関心を引く工夫を凝らし、親しみやすい図書館運営を行い、読書への啓発活動に取り組んだ。</p> <p>○1年生にオリエンテーションを行い、図書館の有効活用を促した。</p> <p>【次年度への課題】</p> <p>○昨年度より、学習活動・読書活動として図書室利用が増えたが、更に主体的・意欲的な学習活動・読書活動が充実し、貸出冊数が増加するような工夫を図る。</p> <p>○図書委員会を有効に活用し、生徒自身の主体的な取り組みを促すよう指導する。</p>	読書指導を通して、生徒の主体的・意欲的な学習活動、読書活動を充実させる。	<p>・図書委員主体の「図書便り」の定期発行を行う。</p> <p>・図書館資料の整理、蔵書の配置の工夫等、本に親しみやすい環境を整える。</p>	<p>A</p> <p>B</p>
渉外部	<p>○計画通りにPTA総会を行うことができた。</p> <p>○スクールバスの運行コースが1つになってしまった。</p> <p>【次年度への課題】</p> <p>○PTA総会の出席率向上に向けての方策を考える。</p> <p>○参加希望者が少なく研修視察旅行が中止になってしまった。また支部研修会も2支部しか行われなかったので、PTA活動の活性化に向けて働きかけたい。</p> <p>○広報誌の発行に当たり、保護者が主体的に行えるように働きかけたい。</p>	学校と家庭との連携を密にし、より良い教育環境を整える。	<p>・PTA各種行事、会合等への参加率を高め、学校と保護者の情報の共有の機会を設ける。</p>	B
保健厚生部	<p>○保健室運営において、入室生徒の状況を把握し、処置等迅速・的確に対応できた。</p> <p>○各種検診を計画的に行い、適切に生徒の健康管理、指導、助言等を行うことができた。</p> <p>○性教育講話では、ロールプレイを取り入れ、生徒の興味関心を喚起した。その他防火防災訓練や、ストープ講習等、計画的に実施できた。</p> <p>○放射線測定・水質検査・環境検査等を予定通り実施し、校内の教育環境の安全管理が滞りなくできた。</p> <p>【次年度への課題】</p> <p>○Jアラート等、新たな危機管理マニュアルの作成。</p> <p>○内科検診を効率的に行えるようにする。</p>	安心・安全な学校づくりの推進	<p>・心身ともに健康な生徒を育成する。</p> <p>・学校の環境衛生について適切な維持管理に努める。</p> <p>・自主的に安全を守る能力を養う。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>

※ 評価基準 A：目標をはるかに上回った B：目標を達成できた C：目標にわずかに届かなかった D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	達成状況及び次年度への課題
国語	授業に意欲的に取り組む態度を育てる。	ノートや課題集等を学期毎に(年間3回以上)点検することを通して、授業に集中して取り組む態度を育てる。	A	B 【達成状況】 ○ノートや課題集等の提出物の点検は計画通り実施し、未提出がないよう指導することができた。審査前や長期休業中についても適量の課題を課し、指導できた。○授業冒頭のスピーチの実施においては、言語能力以外に他者受容、他者理解、自己肯定感等を育むことができた。また、人前で自分の意見や考えを述べることに慣れつつあり、進路に有益であると感じた。○今年度は短歌・俳句の出品が小野小町文芸賞のみになり残念であったが、多数の生徒が入選した。○漢字検定は二回実施し、対策課外等も行うことができた。(合格前年比0.24%増) 【次年度への課題】 ○課題の未提出者や不備による再提出者はだいたいいつも同じ生徒であることが多く、課題である。○長期休業中の課題とした短歌・俳句の作成については、空作が多数あった。出品するにふさわしい作品の制作に向け、授業時間の中でさらなる技法や添削指導などの指導が必要。○基礎学力の向上(漢字・言葉・読解力)を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」を実現させる指導方法についても考える。
	言語活動をとおり、主体的・対話的な学びのある授業になるよう工夫し、場に応じた適切な表現力を身につける。	授業時間の冒頭にスピーチを行い、相手が理解できるように話し方や非言語分野を工夫することで、コミュニケーション能力の向上を図る。	B	
	家庭学習の習慣化を図り、自発的な学習態度を育成する。	俳句・短歌等への積極的な応募を通し、複数入選を目指しながら、自らの感性を磨き、書くことをとおして相手に伝える表現力を育てる。	B	
	漢字検定受験者に対し、合格を目指した対策を行う。	定期考査に向けて宿題を課したり、長期休業中(夏、冬)に課題集等を必修の宿題とするなどし、定期的な家庭学習の習慣を身に付けさせる。	A	
社会	時事的な話題等を積極的に授業に盛り込み、授業への興味・関心を高める。	視聴覚教材や新聞、インターネット等の資料を効果的に活用する。	B	B 【達成状況】 ○視聴覚教材や新聞、インターネット等の様々な資料を活用し、生徒の興味・関心を惹くような授業展開を心がけた。○授業内容の確認プリントや時事プリントを使用し、ノート点検をこまめに実施し基礎学力の定着をはかるよう努めた。○講義式の授業が中心で、アクティブラーニング的な対話を中心とする授業実践までは至らなかった。 【次年度の課題】 ○発問を工夫し、多くの生徒に発言の機会を与える授業展開が課題である。
		発問を工夫し対話型の授業展開を心がけ、生徒への授業の参加を促す。	B	
	教科の基礎学力の定着をはかる。	授業内容の確認プリントやノートの指導(点検)等、きめ細かい指導を行う。	B	
数学	教科書の内容に基づく基礎学力の定着を図り、発展的な事象も取り扱う。	より多くの例題を通し、体験的に理解できるように工夫する。	B	B 【達成状況】 ○演習問題の時間を多くとることで、体験的に理解し、解答できるようになった。 ○課題やノートの提出を定期的に行うことができた。 ○放課後や、長期休業中の補習授業を実施した。 【次年度の課題】 ○アクティブラーニングの継続的な実施方法・検証方法等については引き続き検討事項である。 ○統一した観点別評価基準の検討や、見直しを随時行っていく必要がある。
		課題や学習ノート提出により、理解不足の生徒への対応を迅速に行う。	A	
		各定期考査で、発展的な事象も取り入れ、60%以上の習熟を目指す。	B	
理科	基礎的な学習の向上を図る。	生徒とのコミュニケーションを重視した授業を行い、必要に応じて課外を実施する。	B	B 【達成状況】 ○生徒をできるだけ指名し、発表の機会を設けた。周囲の生徒と相談する時間を設け、答を導かせた。また、練習問題に自主的に回答した生徒に成績加点するなどして、モチベーションの維持に努めた。○成績不振の生徒に対して、テスト期間や夏休み中に課外を実施した。○生物基礎に関しては、NHK K高校講座を利用して、映像によって理解を深める補助とした。授業中に配布するプリントの中に、身の回りの理科に関する話題を載せて、科学への興味・関心を高める工夫を行った。○実験器具がまだまだ不足している状況ではあるが、他校に器具を借りるまたは、身近な道具でできる実験を計画するなどして、これまでに4回の実験を実施した。3学期も実験を行う予定である。 【次年度の課題】平成30年度入学生生物基礎単位増への対応として、実験室の整備と器具の整備を引き続き充実させる。指導内容・手法の検討を行い、アクティブラーニングの充実をはかりたい。
	科学に対する意識・関心を高め、科学的思考力を身につける。	身近な物質や現象、最新の科学情報等を話題として提供し、科学に対して関心を持たせる。	B	
	物理実験室・化学実験室の整備と授業での活用を高める。	計画的に実験室の備品等の整備を進め、教室内の授業以外に実験室・屋外を利用して実験・実習を行う。	B	
体育	体力の向上と各種運動技能の習得に努める。	体作り運動の充実を図り、体力テストA及びBの割合を55%を目指す。	D	C 【達成状況】 体育 ○体力テストA及びBの割合は41.5%と目標の55%には大きく至らなかった。特にAの割合が10.4%と低かった。○補習等を行い、目標を概ね達成することができた。○時間の確保が難しかったが、行える種目に関しては練習に取り組むことができた。○実技研修として指導の仕方など適宜話し合いや共通理解を図った。 保健 ○各授業において身近なニュースを取り上げながら授業展開を図った。生徒の興味を引き、具体的に内容を理解し、思考・判断することに繋がったと感じる。 【次年度の課題】 ○体力テストのA及びBの割合の向上を目指して、生徒の実態に合った体力を高める運動などの充実や生徒の意識を高めていきたい。 ○ルールの周知や練習時期の検討など、特活とより連携しながら学校行事の成功と運動への意欲の向上を図る。
	できる喜びを実感できる授業実践に努める。	卒業課題の合格率90%以上を目指す。	B	
	体育の学校行事とのタイアップをはかる授業を展開する。	クラスマッチ、体育祭の種目などのルール等を取り扱い、学校行事の成功と意欲の向上を図る。	C	
	よりよい体育授業の実践を図る。	実技研修会等を活用し、体育科全員にフィードバックすることで授業内容の充実を図る。	B	
保健	生涯にわたって必要な知識・技能の習得を図る。	最近話題のニュースを取り上げ、生徒の実生活に密着するよう、各場面での思考・判断能力を養う授業展開を図る。	B	
英語	基礎学力の向上に努める。	単元ごとに確認テスト・小テストを実施し、知識の定着を図り、基礎学力強化を目指す。	B	B 【達成状況】 ○単元ごとにきめ細かく指導、確認テストを行うなど基礎学力強化を目指したが、特に中学校での理解不足のまま入学した成績不振生徒の対応に苦慮した。 ○ワークシートやプリントを回収し点検することにより、提出物に対する意識の向上が見られた。 ○ペアワーク・グループワークを多く取り入れ、生徒同士が教え合うことでコミュニケーションが活発になった。 ○全商英検の補講・課外等を行い目標以上の合格者をだすことができた。 【次年度の課題】 ○全商英検において、次年度はさらに上級の級の合格者を増やせるよう努力する。 ○アクティブ・ラーニングなどの指導法を取り入れ、さらにコミュニケーション能力の向上に努めたい。
	資格取得のための指導に努める。	全商英検3級合格60%を目標に、上位の級の合格者も出るように合格対策課外等を実施する。	A	
	実践的コミュニケーション能力の向上に努める。	L教室や音声教材を効果的に活用し、コミュニケーションに必要なリスニング・スピーキング能力を高める。	B	
		ペアワーク・グループワーク・パフォーマンステスト等を実施し、コミュニケーションを積極的にしようとする態度を育成する。	B	
家庭	基礎的・基本的な知識と技術を理解させ、実践的な能力や態度を身につけさせる。	実験・実習を多く取り入れ、具体的にわかりやすい授業を展開する。	B	B 【達成状況】 ○ノートやプリント等の提出物は単元ごとに点検し、未提出がないよう指導することができた。○きゅうりの半月切りの実技テストを実施することで、基礎的な技能を定着することができた。 ○調理実習を通して、生徒は意欲的に取り組み、コミュニケーションが深まり、協調性や自主性を養い、生活の向上を図るための基礎的な技能を身につけさせることができた。 ○ホームプロジェクト活動を通して、家庭生活に関心を持たせ、主体的に生活の改善向上に取り組もうとする姿が見られるようになった。 【次年度の課題】 ○指導内容を検討し、アクティブラーニングの充実を図りたい。
		プリント・ワークの活用や実技テストを実施して、基礎的な知識・技能を定着させる。	B	
		実習を通して、強い精神力や協調性、自主・自立の精神を育成する。	A	
	家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。	ホームプロジェクト活動を通して、家庭生活の質を向上させる。	B	
商業	学力の向上を図る。	学力向上のために日々の授業を大切に、学習意欲の喚起と検定試験等の合格率を高める。	B	B 【達成状況】 ○グループ学習をこまめに導入し、学習意欲を喚起することができた。また、教材研究を行うことにより、よりよい教材を作成するように努めた。○他教員の授業見学に行くなど、教員間の連携をはかり、きめ細かな指導ができたが、もっと多くの先生方の授業を見学し、指導力の向上につなげたい。 ○課題研究では、結城市と筑西市の祭りに参加し、地域と連携して、販売実習をおこなった。商業教育の魅力だけでなく、鬼怒商の魅力も地域の方に発信することができた。 ○出前授業に関しては積極的に中学校にアピールすることができた。来年度以降も継続していきたい。 ○ビジネスマナーとして、授業開始等の挨拶徹底や授業時の椅子の座り方や姿勢もしっかり身に付けられるように指導していきたい。○授業では、講義だけにとらわれず、グループワークや発表する機会を設け、コミュニケーション能力の育成に努めた。 【次年度の課題】 ○一人一人の教員が更なる指導力の向上を目指し、工夫改善に取り組み、生徒の学力向上と学習意欲の喚起を高めることに努める。
		科目ごとに授業研究を行い、工夫改善をして授業の指導力向上に努める。	B	
	商業教育の広報活動に努める。	商業教育の理解を深め、地域と連携した商業教育の推進を図るため体験入学や出前授業を実施する。	A	
	ビジネスにおける実践力の育成を図る。	総合実践をはじめ、すべての商業科目の中でビジネスマナー及びコミュニケーション能力を身につける工夫をし、育成する。	B	

※ 評価基準 A：目標をはるかに上回った B：目標を達成できた C：目標にわずかに届かなかった D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	達成状況及び次年度への課題	
教務	生徒の学力向上を図る。	授業を工夫改善し、主体的・対話的で自ら考え学ぶことによる、分かる授業を展開させる。	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実情に合わせた補習・課外を計画的・継続的に行うことができた。 ○アクティブラーニング研修等、実践的で有用な研修を行い、教員の指導改善への意識の啓発がなされた。 ○その都度内規の検討・見直しを行うことができた。 ○授業は95%以上振り替えて行うことができた。 ○校務支援システム導入に向け、計画通り準備ができた。 ○ボランティア活動、地域との協働、イベントへの参加等、地域との連携が図れた。 <p>【次年度への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今後も計画的・継続的に、生徒の実情に応じた補習・課外を実施する。 ○教員の指導改善に向け、相互授業参観や研修等を教科横断的な情報共有や取り組み策を考え、学校全体で指導力向上に取り組む。 ○新学習指導要領に向け、地域や生徒の実情・実態に応じた適切な教育課程の編成を行う。 ○内規の見直しだけでなく、適切な運用に向け共通理解を図る。 ○校務支援システムの円滑な運用が行えるように体制を整備する。 ○HPの迅速な更新を心がける。 	
		教員の指導力向上のために、授業の相互参観期間を設け、校内外研修の機会を活用する。	C		
	教育課程の編成に努める。	専門分野の知識やビジネス活動体験を通し、社会の要請に応えられる人材の育成に繋がる教育課程を編成する。	B		
	学業不振の転退学者の減少に努める。	成績不振者に対する日頃からのきめ細やかな指導と、補習や課外を計画的に行う。	A		
	内規の検討を行う。	本校の現状をふまえ、内規の問題点を話し合い、必要に応じて見直す。	A		
	授業時間の確保に努める。	年休・出張の際の授業を原則振り替えとし、週当たりの自習時間を2時間以内とする。	A		
	情報の保護・管理に努める。	手引きに沿った個人情報保護を、適正に管理する。	B		
	HPの適正な運営と、教育活動の公表に努める。	ガイドラインの作成と、それに沿ったコンテンツ委員会の活動を活性化させ、迅速な情報の公開を心がける。	B		
	道徳及び道徳プラスでの協働的学びを通し、課題の発見及び解決策を導く力を身に付けさせる。	生徒が自己有用感・達成感を味わえるような学習内容を展開する。	B		
校務分掌	生徒指導	生徒全員に朝の挨拶をさせる	登校指導において、挨拶がかえってくるまで呼びかけていく。	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○挨拶に関しては立哨等で呼びかけている。部活の生徒が見本となっている。 ○生徒指導票による段階的指導に関しては、導入後スカート丈がかなり改善された。 ○遅刻カードを利用した段階的な指導が昨年よりも機能していた。 ○予定された講話や講習会は実施した。大きな交通事故はなかった。 ○毎日の巡回指導が実施された。外部からの苦情や、現在の学校の状況を集会等で話した。昨年度よりも苦情は減った。 ○計画的にカウンセリングが実施できた。予約がない場合等、担当が気を使った。カウンセリングの結果がある程度、学年や担任に伝わるようにしたい。 <p>【次年度への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業開始時の服装チェックについて、再検討。 ○トイレでの喫煙対策として何か策はないか。(煙探知機、貼り紙等) ○男子生徒の髪型(ツープロック)にも、段階的な指導があっても良いのではないか。 ○普通自動車運転・同乗についての生徒指導処置規定を作成する。 ○特別指導の解除時の保護者同席について指導日数に応じて対応する。(5日以上解除の時には必ず同席する等) ○無期謹慎の含み日数は上限を決めてはどうか。 ○問題行動の指導日数の再検討
		服装・頭髪等について校則を守らせる	登校指導、授業、休み時間等において、違反を見逃さず、全職員で呼びかけていく。	B	
		遅刻者数を大幅に減らす	8時35分過ぎに昇降口と教室でダブルチェックをして遅刻の取り扱いを統一する。遅刻カードを活用して段階的な指導を行い、遅刻の防止に努める。	B	
		交通ルールを守らせ、事故を未然に防ぐ	校外立哨指導を実施したり、普段からHR等で注意を呼びかけてもらう。また、自転車点検・交通安全講話、バイク実技講習会等を実施する。	A	
		問題行動を未然に防ぐ	全職員による立哨指導および校内巡回で昼休みの生徒の動向を把握したり、服装検査や様々な集会等で、起こりうる問題行動等について注意を促す。	B	
		教育相談活動の充実	教師の指導に加えて、スクールカウンセラーによる生徒へのカウンセリング、保護者への指導・助言等により、教育相談体制の一層の充実を図る。	B	
特別活動	生徒会・HR活動の活性化につとめる。	生徒会役員を中心に、生徒会組織を生かした学校行事運営を図る。	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○円滑な学校行事運営を実現できた。 ○年間を通して部活動加入率50%を維持できた。 ○前年度の反省を生かし、クラスマッチや体育祭をより充実させることができた。 <p>【次年度への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化祭については、早い段階から生徒を動かしていく。 ○クラスマッチについては、2日間だれられないようにする。また教員の係分担等についても再考する。 ○学校行事の運営については、生徒間の協議をより一層活性化させていく。 	
		部活動加入率50%以上と、年間を通してのその維持に努める。	各部活動の入部者を増やし、意欲的な取り組みを促す。		B
			部活動の生徒を中心に、学校周辺の美化活動等に取り組む。		B
		クラスマッチ、体育祭等の学校行事に対し、生徒の主体的参加を促す。	生徒間の協議を活発化させることで、学校行事の充実を図る。		A
進路指導	キャリア指導の充実努める。	生徒の個性に応じ、適切なキャリア教育を実施する。	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の進路希望に即した進路ガイダンス等の行事・面接・課外指導が実施できた。 ○進路決定率は、就職96%、進学99%(1月19日現在)であり、100%を目指して継続指導中である。 ○インターンシップは、24事業所において66人の生徒が参加し、貴重な学びの場となった。 ○企業見学や就職選考、3学年との連携がスムーズに行われた。 <p>【次年度への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教員間の連携をより一層高められるようにしたい。 ○就職に関しては、企業見学や選考のあり方がさらにより良くなるための方策を模索したい。 ○進学に関しては、看護関係の学校への推薦基準を明確にしたい(看護体験への参加)。 	
		進路実現100%を目指し、進学課外や教職員及び外部講師による模擬面接指導などの推進に努める。	B		
		教員間の連携をはかり、進路未決定者に対するきめ細やかな指導を行う。	B		
	キャリアガイダンスの充実努める。	進路に関する適切な資料や情報の提供、案内、説明、相談、またキャリアデザインに関する指導などを適宜積極的に行う。	B		
	求人確保及び開拓に努める。	企業訪問を行い、求人の確保及び開拓を推進する。	A		
職業意識の啓発に努める。	就業体験(インターンシップ)など様々な活動をおとして職業意識の啓発を図るとともに、進路選択を具体的に意識させる。	B			
環境整備	率先して清掃を行い、環境美化意識の向上を図る。	教室のワックスがけ、モップ交換を年4回実施し、教室の美化に努める意識、態度の育成を図る。	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教室のワックスがけ、モップ交換等、年間計画どおりに実施できた。 ○生徒の美化意識の向上と教員と生徒の信頼関係構築は、概ねできている。 ○本館、特別棟トイレの清掃は、美化に努めた。 ○学校周辺・通学路のゴミ・空き缶拾いは、特活部とも協力し実施できた。 <p>【次年度への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本館トイレの清掃は業者を入れたが、特別棟トイレ(フローリング)もお願いしたい。 ○生徒の公共心や美化意識の向上を育成するために、業者の定期的な導入も検討してもいいのではないかと。 	
		各清掃区域の清掃を実施し、生徒の美化意識の向上を図り、教員と生徒の信頼関係を構築する。	B		
		トイレは、特別棟(フローリング)、本館(タイル)と形態は違うものの洗剤、用具等を工夫して美化に努める。	B		
	今年度の重点目標を掲げて、より一層環境美化の意識を高める。				
環境問題を身近なもの意識し、公共心や奉仕の心を育む。	学校周辺の空き缶・空き瓶・ゴミ等の清掃を年2回行い、教育環境に関心を持たせ、奉仕の心を育成する。	A			

※ 評価基準 A:目標をはるかに上回った B:目標を達成できた C:目標にわずかに届かなかった D:不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	達成状況及び次年度への課題		
校務分掌	保健厚生	生徒の心身の健康増進を図る。	保健室の効果的な運営に努める。	B	<p>【達成状況】</p> <p>○保健室運営については、来室生徒の状態を把握し、処置等、十分に対応することができた。</p> <p>○各種検診は効率的に全生徒が実施できた。</p> <p>○性教育講話はロールプレイを実施し、分かりやすい内容であった。</p> <p>○防災避難訓練が滞りなく実施できた。また、ストーブ講習会を実施し、防火安全指導を行なえた。</p> <p>○放射線測定（毎月）・水質検査・室内環境検査を予定どおり実施できた。</p> <p>【次年度への課題】</p> <p>○内科検診の際、女子の下着の着用を無しにしてほしいと、校医より要望があった。</p> <p>○Jアラート等、新たな危機管理マニュアルが必要となってきた。</p> <p>○防災避難訓練での消火器訓練の説明等は、消防署職員にお願いする。（今年度まで総和防災）</p>	
		学校生活の安全教育に努める。	防火・防災避難訓練やAED講習会を実施する。危機管理マニュアルの共通理解を図る。	B		
		学習環境を整備する。	エアコン、ストーブの安全管理および生徒の健康管理に努める。	B		
			水質検査および室内環境検査等を実施する。	B		
	図書	生徒の読書センターや情報センターとして図書室環境を整備し、学習活動を支援したり、情報収集・選択・活用能力を育成する。	わかりやすい蔵書の配置・親しみやすい装飾にも努め、図書室を利用しやすい環境に努める。	A		
			図書館資料を整理し、蔵書のデータベース化を図り、貸出し返却手続等を迅速に行えるよう努める。	B		
		読書指導と読書の推進を図り、主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実するよう努める。	1年生全員に図書室利用のオリエンテーションを実施する。	A		
			新刊本をカラーコピーし、教室・廊下等に掲示し、資料の提供を行う。	B		
			生徒・教職員に対して、購入希望図書を募り、随時購入希望を受け付ける。	B		
	生徒発行の「図書室だより」を年間3回以上発行して新着図書案内を行い、読書に対する関心を高める。	B				
渉外	PTA各種行事、会合への保護者の参加率を高め、家庭との連携を密にする。	PTA総会や授業参観への出席率が昨年度の43%以上になるよう工夫をする。	B	<p>【達成状況】</p> <p>○PTA総会の出席率はいつもながら良くない状況である。</p> <p>○広報誌「鬼怒」については、ほとんどが教員で構成しているのでたいへんであった。</p> <p>○研修旅行の参加者が少なかったので中止になってしまった。</p> <p>○支部研修も2支部になってしまった。</p> <p>○スクールバスの運行が1コースになってしまった。</p> <p>【次年度への課題】</p> <p>○PTA総会の出席率を上げたい。</p> <p>○広報誌の構成については来年度からは広報委員会の保護者にお願いしたい。</p> <p>○研修視察旅行を実施できるように参加者を増やしたい。</p>		
		学校の教育活動を積極的に広報するため、PTA広報紙の充実をはかる。	B			
		会員相互の親睦をはかるため、保護者対象の研修旅行等を実施する。	c			
		PTA支部研修会への出席率が向上するよう声かけをする。	B			
鬼朋同窓会の組織強化に努める。	副会長、常任理事の増員を検討する。	B				
スクールバスの円滑な運行をはかる。また、来年度予想される消費税増税への対応を検討する。	スクールバス運行委員会において、常に問題点を改善していく。	B				
学 年	一 学 年	元気で明るいあいさつをさせる。	教員側から率先してあいさつをする。いつでもどこでも何度でもあいさつをする。また、授業、集会等での一斉挨拶も継続的に指導する。		B	<p>○教員生徒ともに、あいさつに力を入れたが、反応の薄い生徒もおり、継続指導が必要である。</p> <p>○朝のホームルームで着席している状態まではいかなかったが、時間を意識した行動ができるようになった。</p> <p>○スタッフ全員で生徒指導にあたれたが、校則違反、問題行動があった。次年度以降もスタッフ全員で継続的な指導をする。</p> <p>○そうじの時間の携帯使用者は3日間預かりとし、各クラス共通で指導できた。掃除をさぼる生徒もほぼ出なかった。次年度は全校生徒がそうなるように働きかけたい。</p> <p>○進路活動として合計6回実施した。日頃の学習活動につながっているかは定かではないが、各活動ともに熱心に取り組んだ。次年度は具体的な指導を実施したい。</p>
		時間厳守の意識を定着させる。	朝のショートホームルームのチャイムと同時に着席して待つ習慣をつける。移動教室、集会、行事等での5分前行動を定着させる。		B	
		校則を守らせる。	生徒に服装・頭髪・申請等々、各校則の理解をさせる。違反にはスタッフ全員で継続的に指導する。		B	
		そうじの徹底をさせる。	携帯電話は持たせない。各自が目的意識と達成感が持てるような工夫をする。		A	
		進路指導の充実をはかり、学習意欲の向上を図る。	進路ガイダンスの実施、体験ツアー、外部講師を活用する。進路の意識を高めて、日頃の学習活動につなげる。	B		
	二 学 年	進路意識の高揚とコミュニケーション能力の育成に努める。	インターンシップやオープンキャンパスへ自主的に参加するよう促す。外部講師のもとで面接指導を年5回以上実施する。	B		
		授業環境の質の向上に努める。	チャイムで始まりチャイムで終わることを意識づける。正しい挨拶や身だしなみ、移動教室等では携帯電話は所持しないを徹底する。授業中の私語はゼロにする。	C		
		情報ビジネス科の特徴を活かした指導を実現させる。	各種検定試験の合格率80%を実現する。商業科においても50%を実現する。	B		
		部活動での主体的活動を担う。	部活動加入率40%を維持し、学校のPR活動にも貢献する。	B		
		モラルを重んじ、規則を守るよう啓発していく。	鬼怒商生であることにアライドを持たせ、学校の「イザ」をくずさぬよう節度ある行動を取らせる。特別指導を年間一ケタとするために、家庭との連絡を密にし、生徒指導における小さなミスを見逃さず学年一丸となって早期発見・早期解決に努める。	B		
三 学 年	一人一人が希望する進路を実現させる。	・進路ガイダンスや個人面談をふまえて、保護者との連携を密にして双方の納得のいく進路を実現させる。 ・進路（就職・進学）実現のためのスキルを身につけさせる（※面接力・基礎学力等）	A	<p>○一人一人の進路の実現に関しては、担任・保護者・生徒間の連絡を密にして、進路指導部の指導の下、きめ細かい指導によりある程度達成できた。</p> <p>○高校生らしい服装等については、生徒指導部の提起した指導により改善された（特に女子生徒のスカート）。</p> <p>○1学期は進路を意識させることで、授業態度が改善され、欠席・遅刻等も少なかったが、大方の生徒が進路決定した11月以降は、授業にやる気が全くみられない生徒や、欠席・遅刻が激増した生徒が出てきた。</p> <p>○検定に関しては商業科は約70%と目標を下回ったが、最終学年として卒業間際まで検定に対する意識を持ち続ける指導は継続できた。情報ビジネス科は、日商簿記3級合格80%以上、また3年ぶりにITパスポート合格者（1名）をだすことができた。</p>		
	社会に出ても恥ずかしくない基本的な生活とマナーを身につける。	・欠席、遅刻、早退等を極力しないよう努力させると同時に家庭との連携を密にする。 ・時間を守る習慣や挨拶・正しい言葉遣い・高校生らしい服装頭髪等のマナーを励行させる。	B			
	授業環境の向上と生徒全員の卒業を実現させる。	・チャイムでの着席の励行とケータイ・スマホの授業開始時前の提出の徹底。 ・授業中の私語や居眠り等をなくす指導を粘り強く行う。	C			
	資格取得に自主的・積極的に取り組ませる。	・3学年で取得すべき資格について、最後までチャレンジする意識を盛り上げ支援する。	B			
	情報ビジネス科の特長を生かした高度資格取得の目標を達成させる。	・各種検定試験の合格率80%を目標とする。 ・高度資格取得（日商簿記3級以上、ITパスポート等）へのチャレンジ。	B			

※ 評価基準 A：目標をはるかに上回った B：目標を達成できた C：目標にわずかに届かなかった D：不十分